

# 令和 7 年度 京田辺市産業振興ビジョン推進委員会 (第 1 回) 会議要旨

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員長あいさつ
- 5 委員会の会議の公開（傍聴者入場）について（傍聴希望者なし）
- 6 審議事項
  - (1) 強み、弱み、外部環境の変化について

## 【事務局】（資料説明）

【委員】資料の分野の並びが農業、工業、商工業、商業、観光の順となっているが、商工業を先に置き、工業、商業、農業、観光の順で並べた方が良いのではないか。

- (2) 農業の施策方針について

## 【事務局】（資料説明）

【委員】地域計画とどのように連携していくかを基本戦略の中には入れる必要があるのではないかと。多数の項目が並んでいるが、地域計画と合わせての優先順位を考える必要があると思う。農業に従事する高齢者が増えているが、若い人も頑張っている。地域計画と基本戦略、そして若い農業者がいるという実態を活かす為に市民が農業に参画するという辺りが立体的に見えるようになるとうい。

### (3) 工業、商工業、商業の施策方針について

#### 【事務局】(資料説明)

【委員】人材育成の部分で京田辺市に大変お世話になっているが、生徒が最終的に企業を決定する際にはいろんな企業へ見学に行き決定していくことになるため、人材育成と就職がつながるのは難しいと感じている。

【委員】市を盛り上げていく気持ちは分かるが、企業としては京田辺市から人を集める必要はなく、逆に山城地域や京都府南部など他の地域から京田辺に働きに来てもらうという考え方があってもよいのではと思う。

【委員】農業、商工業、観光の3本柱になるのか、工業、商工業、商業を合わせた5本柱になるのかを明確にしておいていただきたい。また、全体ビジョンの冒頭に「事業者と市民がともに手を取り、快適な事業環境と豊かな生活を創造するまち」とあり、行政が入っていないため、行政もしっかり関わっていくということを付けてもいいのではないかなと思う。

【委員】商工会も高齢化による廃業で会員が減っており、後継ぎがおらず、商売を続けていけないところに問題があるのではないかな。これは深刻な問題で、若い創業希望者が多いが、昔からいる商売人をどのように守っていくかということも考えていただきたい。

【委員長】大学でのボランティア活動から社会的な企業を作るという道はあると思うがなかなか出来ない。そこを何らかの形で大学と市が連携しながらやっていると、ただ4年間を過ごすだけになってしまう。それは非常にもったいないと思うため、そこを引き留め、大学とまちとの好循環を作っていくことが非常に重要だと思う。

### (4) 観光の施策方針について

#### 【事務局】(資料説明)

【委員】「ひとやすみ観光」という概念はよいが、どうやって観光客を呼び込んで来るのかが1番重要な戦略だろうと思う。

【委員】京田辺市は観光資源が分散していて市内だけで完結して観光客を呼ぶのは難しいと思う。観光ボランティアは大きな戦力になっていると思うし、希望者も多いので、行政と観光ボランティアガイドともっと連携できないか。

【委員】ひとやすみしてくれるのはいいが、出来れば1泊してほしい。何年前にJR東海の「そうだ、京都へ行こう」で一休寺が紹介され、周辺がすごく混雑した。あのような観光PRを心掛ける活動を継続する必要があると思う。

## 5 閉 会